

令和4年度金谷区地域活動支援事業 自己評価票

記載例

1. 提案する事業及び団体等の名称

事業名	△△地区高齢者いきいき支援事業
提案者	(名称) △△地区活性化協議会 (代表者) 会長 ○○ ○○

2. 提案する事業のポイント

提案事業の活動内容が、各審査項目の「審査の視点」にどのように適合するかを簡潔に記入してください。

審査項目	審査の視点	記入欄
①公益性	<ul style="list-style-type: none"> 提案事業の成果が広く地域に還元されるものか 補助金を充てて購入した物品や修繕した施設等が、長く地域で活用される見込みがあるか 全市的な方向性と合致しているか 提案者以外の市民や団体等に不利益を与えるものではないか 	<ul style="list-style-type: none"> △△地区に住む高齢者の健康づくりや地域住民との交流の場であり、事業の成果が広く地域に還元されると考える。 購入した血圧計や体重計等は、地域で実施する健康相談で使用する。 高齢者支援については、市でも様々な取組がされていることから、全市的な方向と合致している。 市民や他の団体等に十分配慮し、事業を計画している。
②必要性	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題解決や活力向上に効果が見込まれる取組であるか 地域の実情や住民要望に対応したもののか 緊急性の高い提案事業であるか。 ほかの方法で代替できないものであるか 補助金を充てる経費が、提案事業を実施する上で不可欠なものであり、その規模も必要な限度となっているか 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題である行政の高齢者支援の対象にならない方に対する支援である。 高齢者支援の更なる充実を望む声に対応している。 講座、研修会等の内容から、実施に不可欠な経費を計上している。また、参加者の人数や会場の規模についても、過度ではないと考える。
③実現性	<ul style="list-style-type: none"> 目標（達成すべきこと）や事業内容が明確なものか 関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか 資金調達の規模や時期に無理はないか 	<ul style="list-style-type: none"> 週に1回程度いきいき講座を開催するほか、健康・生活相談や、子ども達との交流会等を実施することにより、本事業の目的を果たすことができる。 市の○○○○課と事前に相談し、了承を得ている。 講座参加者から参加費を徴収し、財源の一部に充て、自主財源を確保する。
④参加性	<ul style="list-style-type: none"> 提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達との交流会や△△の開催などにより、多くの住民等による交流の場が確保されるよう計画している。
⑤発展性	<ul style="list-style-type: none"> 新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか 事業の終了後における自立性や発展性は期待できるか 提案団体に、信頼性や将来性はあるか 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな取組として、次年度以降、お弁当サービス事業や地域のシルバー人材派遣事業などを検討する。 助成事業終了後も、継続的にスタッフ研修会などを行い、専門知識を身につけ、次年度以降は自前で実施できるようにする。